



社会貢献支援財団、 「平成21年度 社会貢献者表彰」の 候補者推薦を受け付け

人命救助の功績など三分野50件に対し、日本財団賞を贈呈

社会貢献支援財団（会長 日下公人）は、「平成21年度社会貢献者表彰」の候補者推薦を受け付けている。

同財団は日本財団の助成を受け、社会の各分野で顕著な功績を挙げながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、昭和46(1971)年以来、毎年秋に社会貢献者表彰を行っている。平成20年度は寄せられた156件の推薦から50件を表彰した。昨年までの表彰件数累計は、1万1千7百件以上に上っている。

平成21年度の表彰は人命救助の功績、社会貢献の功績、特定分野の功績に分かれ、受賞者には表彰状と記念品及び副賞として日本財団賞50万円が、各件ごとに贈られる。

推薦にあたり、候補者には、年齢・職業・性別・居住地域等の制限はない。推薦は推薦要領を同財団から取り寄せ、所定の推薦書を郵送にて社会貢献支援財団まで送るか、財団のホームページから送信する。締切は5月29日（必着）となっている。

表彰の発表は9月下旬、表彰式典は11月をそれぞれ予定している。

なお、同財団では平成20年度受賞者の功績をとりまとめた平成20年度「社会貢献者の記録」を発行した。同書は各都道府県立図書館等に贈られる。

「平成21年度 社会貢献者表彰」の概要

表彰内訳

- ・人命救助の功績：／日本財団賞（副賞50万円）
- ・社会貢献の功績：／日本財団賞（副賞50万円）
- ・特定分野の功績：海の貢献賞／日本財団賞（副賞50万円）

功績区分の内容

1. 人命救助の功績

- ・海難・水難、交通事故、遭難等に際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績
- ・犯罪等の発生に際し、身命の危険を冒してその解決に協力された功績
- ・災害・事故・犯罪の発生を未然に防いだ功績

2. 社会貢献の功績

- ・精神的・肉体的な著しい労苦、危険、劣悪な状況に耐え、他に尽くされた功績
- ・困難な状況の中で黙々と努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績
- ・先駆性、独自性、模範性などを備えた活動により、社会に尽くされた功績

3. 特定分野の功績

『海の貢献賞』

- ・海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績
- ・海に関わる産業分野において
 - 傑出した技能による同分野への貢献と技能の伝承に尽くされた功績
 - 優れた発明・考案・改良等により同分野の発展に尽くされた功績
- ・海に関わる文化の発展・保存・伝承等に貢献された功績

表彰選考委員（平成21年2月20日現在）

委員長 内館 牧子（脚本家）
犬丸 一郎（トット基金 理事）
大武 健一郎（TKC全国会 筆頭副会長）
勝谷 誠彦（コラムニスト、写真家）
神津 十月（エッセイスト）
山根 基世（元NHKアナウンサー）
米長 邦雄（日本将棋連盟 会長）
吉永 みち子（作家）

報道関係のお問い合わせ先

社会貢献支援財団 <http://www.fesco.or.jp/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル2階
TEL : 03-3502-0910
FAX : 03-3502-7190
E-mail : fesco@mve.biglobe.ne.jp